

2020年9月28日

## ホーチミン市（旧サイゴン）

ホーチミン市は、ベトナム最大の都市でサイゴンとも呼ばれます。同市はサイゴン川を取り囲むようにベトナム南東部に位置し、総面積は約 2,095 平方キロメートルです（人口約 900 万人）。南部開放記念日（1975 年 4 月 30 日）から 45 年の間に、同市は戦争で荒廃した町から、ベトナムと ASEAN 地域の主要な経済ハブ都市へと変貌を遂げました。2025 年までを視野に入れた 2017～2020 年期スマートシティ建設計画によると、同市はスマートシティ化に向け取り組むべき主な分野として、公共サービスの改善、政策意思決定への IT 技術の応用、行政の透明性確保、情報アクセスの向上、環境および災害対策、交通インフラの向上などを挙げています。同市はベトナムの経済、文化、教育、科学技術などの活動の中心を担う特別



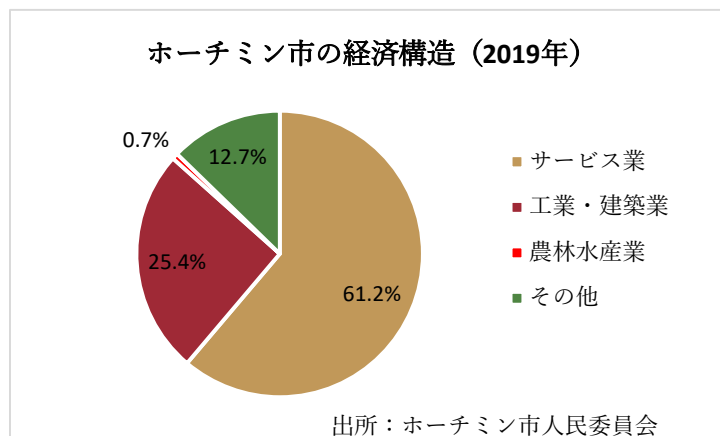
当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

な都市です。ベトナム南部の重点経済地域を世界経済と統合・交流させるかけ橋であり、ベトナムのみならず東南アジア全体にとって政治的にも重要な都市でもあります。

### ❖ 経済について

2019年の域内総生産（GRDP）は、約1,345兆ドン（約582億ドル）と推定され、全国GDPの23%に相当し、その成長率は約7.9%でした。2015～2019年の平均一人当たりGRDPは約6,800ドルで、全国の2.3倍の水準でした。また、ホーチミン市は、ベトナムで最



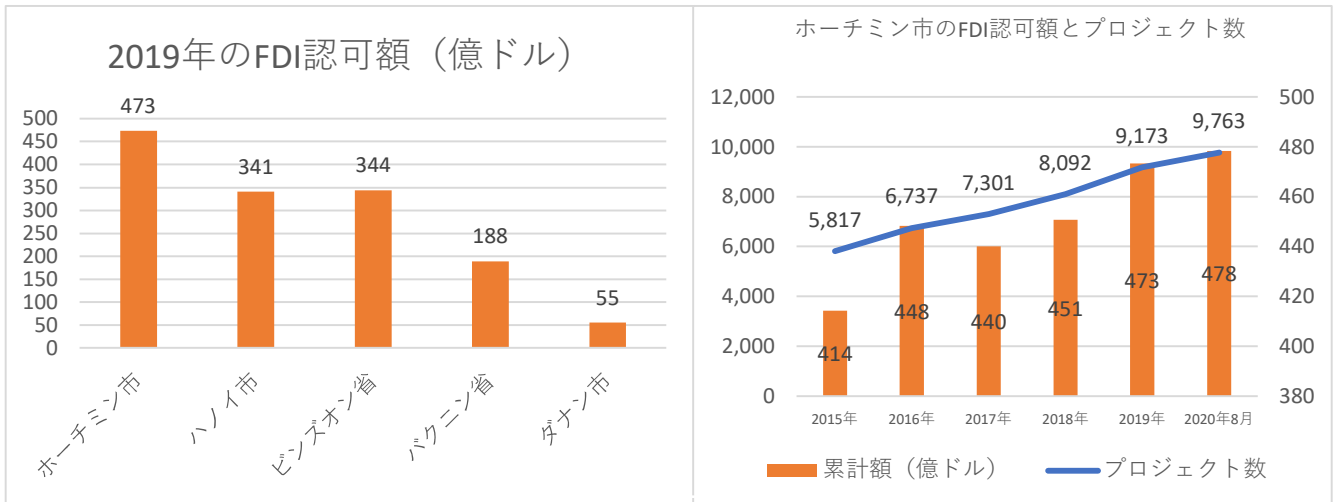
大の輸出入額を誇り、さらに国内最大の金融・銀行センターとして、そして外国投資資本の誘致地域としてベトナム全土を牽引しています。同市の経済構造は、サービス業が全体の61.2%で成長を牽引し、工業・建設業（同25.4%）、農業（同0.7%）が続きます。同市は、その強みである金融、観光、商業、物流の振興に焦点を当てています。

2019年12月31日現在、同市で活動する企業数は前年比5%増の239,623社で、全国の総企業数の31.6%を占めています。ビナミルク、サイゴンビール・アルコール飲料、フーニアン・ジュエリー、モバイル・ワールド、ペトロベトナムガスなどの有力企業も同市に本社を置いています。

海外直接投資（FDI）に関しても、同市は海外直接投資家にとって大変魅力的な投資先となっており、2019年12月の時点で、外国直接投資流入額（累積ベース）は9,173件の約473.4億ドルと、ベトナムの総FDI流入額の約13.1%を占めています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～



出所：投資計画省

2019年、外資系企業が資本を多く拠出した主要産業は3分野あり、加工・製造（投下資本全体の40%）、不動産（同20%）および科学技術分野（同14.5%）でした。同市は、外資誘致活動の一環として海外投資家の要件に応えるべく、インフラ整備、人材教育、サービス業などの環境整備に力を入れています。

同市は、他の都市・地域に比べて物流基盤が充実しています。現在、タンソンニャット国際空港は、40社以上の航空会社が運航しており、毎日約350便の発着があります。また、同市の港湾は南部地域の物流拠点として大切な役割を果たしていて、2020年の取扱貨物量は年間2億トンに達する見込みです。同市の港には同時に複数の3万トン級の大型貨物船や客船の入港が可能になっています。さらに、地域の発展と貿易需要の増大に応えるために、ヒエップフック（Hiep Phuoc）港が建設されています。



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

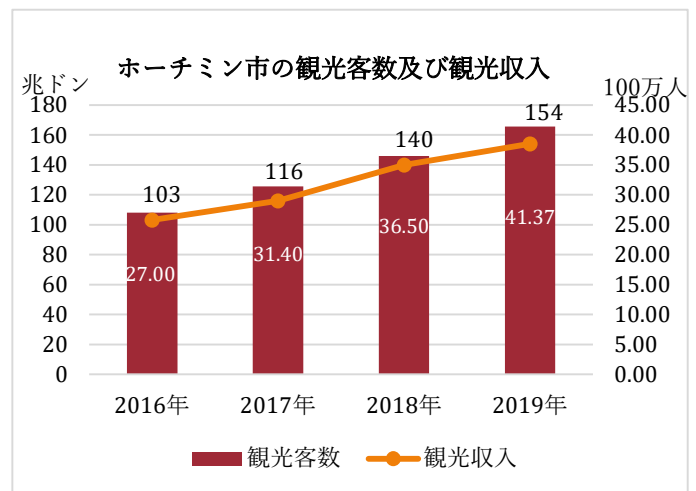
現在、同市には総面積 4,063 ヘクタールの 17 の輸出加工区と工業団地があり、その敷地中にはハイテクパークとソフトウェアパークがあります。今後、面積 2,089 ヘクタールを有する 7 つの工業団地を新たに建設する計画があります。同市は優秀な人材が豊富で、教育システムも充実しています。現在、75 の大学とカレッジがあり、70 万人の学生が在籍しています。各大学はアメリカ、イギリス、オーストラリア、フランスなどの海外の教育機関と連携し、大学教育をさらに発展させて各方面のニーズに応える態勢を整えています。

ホーチミン市民には大きな特徴があります。それは政治と社会が安定していて、町の人々はおもてなしの心を持ち、そして新しいことを受け入れる柔軟かつ積極的な姿勢があることです。これはホーチミン市の最大の魅力となっています。

❖ 観光について

ホーチミン市観光局によると、2019 年に同市を訪れた外国人観光客数は前年比 +13.5% の約 861 万人に達し、国内観光客数は同 +13% の約 3,276 万人を数えました。2019 年の観光収入は前年比 +10% の 154 兆ドンと推定されています。

同市は「東洋のパリ」とも称されます。旧フランス統治時代の面影が残る建物が多く、同市の観光スポットはフランス植民地時代とベトナム戦争に関連した場所が中心になっています。同市は市街地や郊外も含めると広大な面積となりますが、旅行者が好んで訪れるエリアは同市 1 区と呼ばれるエリアに集中しています。ここを訪れる訪問者は、旧フランス統治時代の懐かしい面影と現代アジアの熱気が混在する独特の味わいのある街の散策を楽しめます。



出所: ホーチミン市観光局

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

同市は、ショッピングとエンターテインメントの中心地でもあります。喫茶店、バー、ディスコ、映画館はもちろん、ダムセン公園、スオイティエン、サイゴン動植物園などの公園も数多くあります。サイゴンセンター、ダイヤモンドプラザなどのショッピングエリアや多くのレストランが軒を並べるのも大都市ならではの風景です。



**ホーチミン人民委員会庁舎:** 旧フランス統治時代の 1908 年に建てられ、パリの市庁舎を模して造られました。広場には建国の父ホー・チ・ミン氏の銅像が設置されています。建物自体が美しく、夜はライトアップされる絶好の撮影スポットです。



**サイゴン大教会（聖母マリア教会）:** ホーチミン市内中心に建つネオゴシック様式のカトリック教会です。高さ 60 メートルで迫力があります。19 世紀末に建てられたレンガ造りの教会は、ホーチミン市のシンボリック存在で、海外観光客だけではなく連日、国内からのベトナム人新郎新婦が記念撮影をする姿を見かけます。



**統一会堂:** 南ベトナム時代の旧大統領官邸で市内のほぼ中央に位置しています。ベトナム戦争終結の調印がなされた歴史的な場所です。



**ベントイン市場:** 食料品、雑貨、衣類や小物商など 2,000 軒以上の小規模店舗がひしめき合うホーチミン市最大の市場です。朝 6 時から夜 11 時まで営業していて昼夜問わず活気があります。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

同市では、南ベトナム料理のレストランの他、ベトナム全土の料理を提供するレストランもあります。フランス料理、寿司などの日本料理、テキサス風バーベキューからケンタッキーフライドチキンなどのファストフードにいたるまで、地元料理以外の選択肢も豊富です。ベトナム南部の特徴的な料理には、コムタム（Com Tam）、フーティウ（Hu Tieu）、バインセオ（Banh Xeo）などが挙げられます。また、狭い裏通りや路地では国内外の訪問者にとって魅力的なバンミー、春巻き、アイスマルクコーヒーなどの露店も多くみられます。



コムタム



フーティウ



バインセオ



バンミー



春巻き



アイスマルクコーヒー

【写真提供：JVRC】

[http : www.capital-am.co.jp](http://www.capital-am.co.jp)

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。